

# 芸備線再構築協議会幹事会 実施報告

---

令和7年3月26日  
国土交通省 中国運輸局

〔 第3回幹事会：令和6年12月25日（水）開催  
第4回幹事会：令和7年 1月29日（水）開催 〕

○第3回芸備線再構築協議会幹事会（概要）

日時：令和6年12月25日（水）10:00～11:40  
場所：TKPガーデンシティ岡山  
議事：以下のとおり

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 調査事業Aの概要          | <p>調査事業Aとして、「データ36項目の収集」「沿線住民・来訪者へのアンケート」「地域団体・事業者へのヒアリング」「それらを踏まえた現状把握と総合的な分析」「地域経済効果の試算」「定性的価値の評価・確認」に取り組む旨を報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域経済効果の試算として、調査事業Aにおいて、地域経済効果の試算を検証するために取り組む「施策」を仮説的に立案（その後、実証事業Aにおいて施策を仮説検証）</li><li>・定性的価値の評価・確認として、調査事業Aにおいて、地域へのヒアリング・アンケート等を通じて得られた、芸備線がもたらしてきた定性的価値について評価・確認</li></ul> |
| 2. 令和7年度協議会予算・構成員負担金 | <p>令和7年度協議会予算のうち、協議会・幹事会の運営費について、国補助を活用した上で、費用の残り1/2について、負担金の大枠的な負担割合（JR西日本・2県2市が1/4ずつ負担）に沿って負担していくことで合意</p>                                                                                                                                                                                                                             |

今後の進め方：翌年1月に第4回幹事会を開催して、調査事業Aの中間報告を共有

## 住民・観光客アンケートや関係者意見聴取等の新規調査も交えてデータを収集し、分析する

## 調査事業における実施項目

## 実施に際しての留意点

1-1

## 必要なデータの収集

- 「必要なデータ」と位置づけられているデータを網羅的に収集。
- 一部のデータについては、統計等による収集・推計が困難であるため、「住民アンケート」と「来訪者アンケート」の2種類のアンケート調査を実施する。（#2に詳細を記載）

- 特定区間沿線は高齢者が多いことを踏まえ、**住民アンケートはウェブではなく郵送方式**を想定する。
- 来訪者アンケートは観光客・ビジネス客の双方を対象としたウェブアンケートを行う。

1-2

収集したデータ等を  
活用した現状把握と  
総合的な分析

- 芸備線沿線地域の現状を把握する。
- 地域経済効果の試算（次頁参照）など、沿線地域で実施可能性のある芸備線の利便性向上のための施策における費用および効果等の分析を実施する。

- 統計等から算出が難しい項目については、#1-1のアンケート調査結果を活用することで、可能な限り定量的な算出を行う。
- 利便性向上施策の検討・立案に当たっては、#2で**関係者から挙げたアイデア・見解も踏まえ整理**する

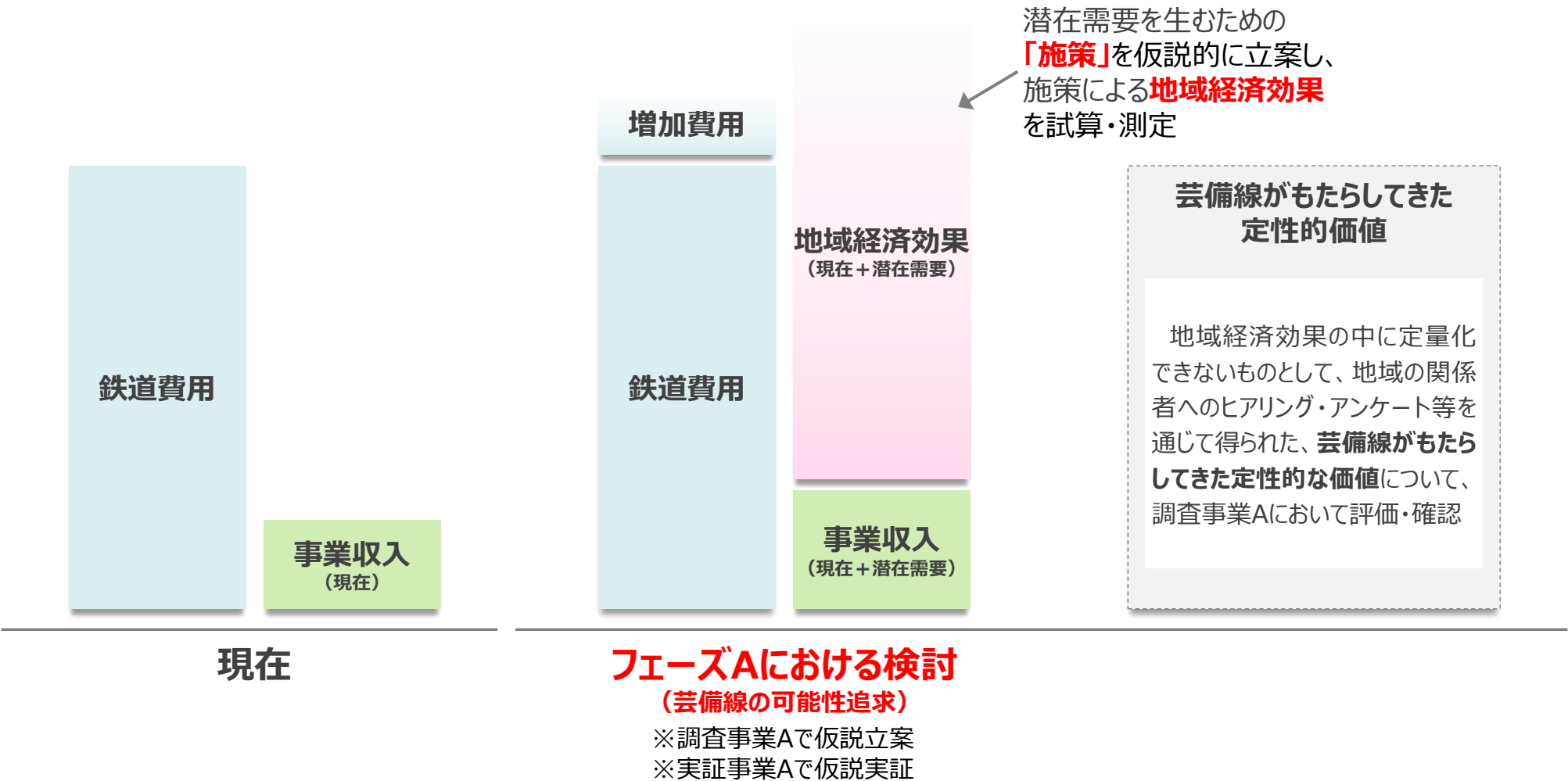
2

関係者からの  
意見聴取の実施

- #1-1における「沿線住民アンケート」で、住民の声を聴取する。
- アンケートに加え、商工会議所・商工会・観光協会・交通事業者、その他地域振興団体に対するヒアリング調査を実施する。

- 地域の団体・事業者へのヒアリングは、対象者の属性や聴取項目を踏まえて、**単独形式又はグループ形式**で実施する。

- 調査事業Aにおいて芸備線の多様な価値の創出や鉄道の潜在需要増加につながる「施策」を仮説的に立案  
収集データに基づいて妥当な結果が見込まれる「施策」による地域経済効果を試算
- 実証事業Aにおいて「施策」を試行的に実施して仮説を実証



○第4回芸備線再構築協議会幹事会（概要）

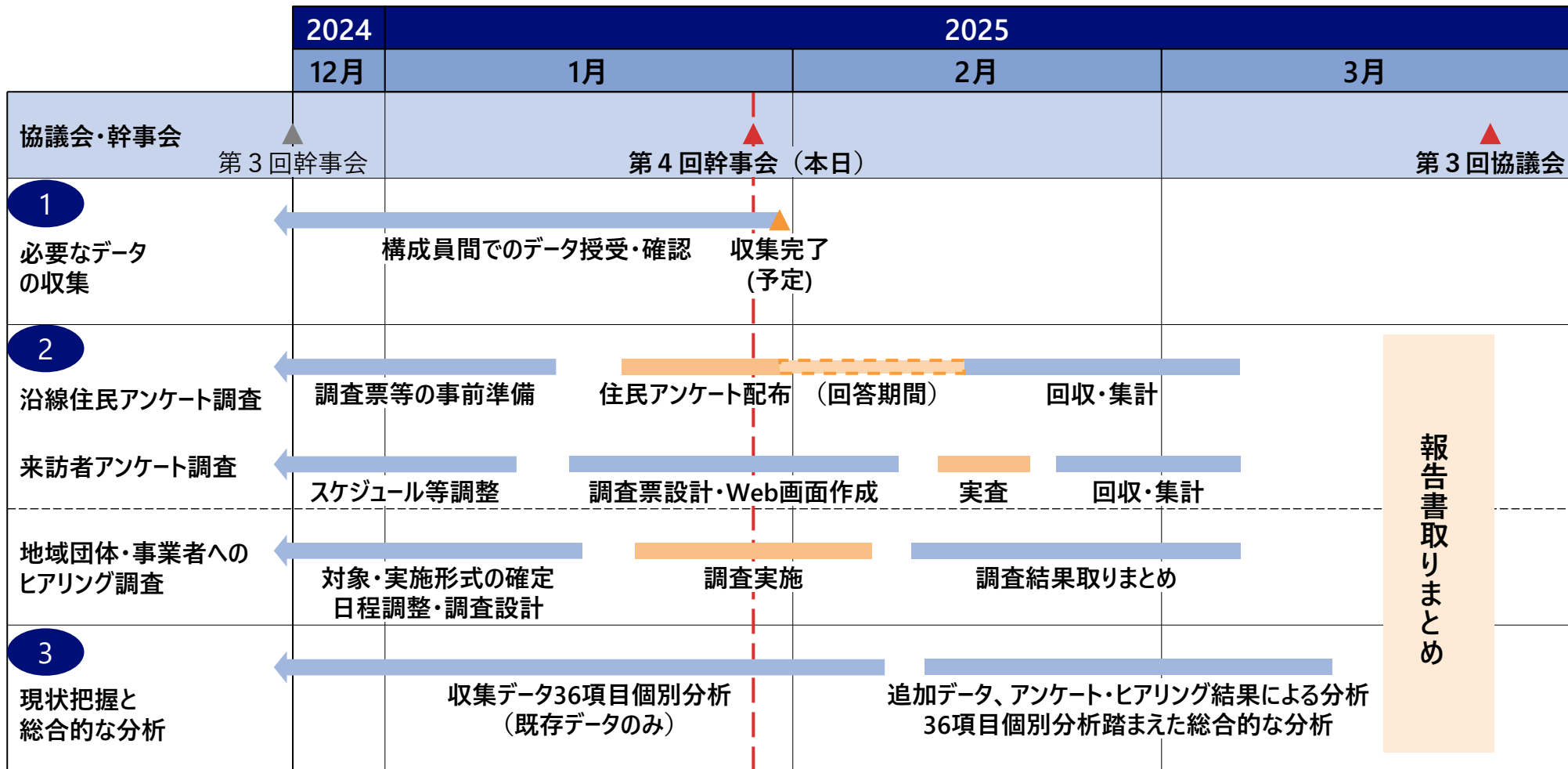
日時：令和7年1月29日（水）9:45～11:15  
場所：TKPガーデンシティ広島駅前大橋  
議事：以下のとおり

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 調査事業Aの中間報告            | <p>年度末にかけて実施中の調査事業Aにおいて、「<b>データ36項目の収集</b>」「<b>沿線住民・来訪者へのアンケート</b>」「<b>地域団体・事業者へのヒアリング</b>」「それらを踏まえた<b>現状把握と総合的な分析</b>」「<b>地域経済効果の試算</b>」「<b>定性的価値の評価・確認</b>」の検討状況を報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現状把握と総合的な分析として、データ36項目・アンケート・ヒアリングの結果を分析した後、潜在需要を生み出す施策を年度末にかけて立案</li><li>・地域経済効果の試算として、費用・収入・経済効果など、施策を講じた場合における各試算項目の試算方法を提示</li></ul> |
| 2. 来年度実証事業Aの検討           | <p><b>地域経済効果の試算を検証するために実証事業Aで取り組む施策等</b>の事務局試案を提示し、第3回協議会に向けて施策案に関する調整を更に進めていく方向で一致</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 3. 来年度調査事業（より専門的な分析等）の検討 | <p>実証段階でも新たなデータ収集を行う調査体制を確保するため、<b>より専門的な分析等に関する調査事業</b>が必要となる旨事務局から提案し、今後検討を重ねていく方向で一致</p>                                                                                                                                                                                                                                                               |

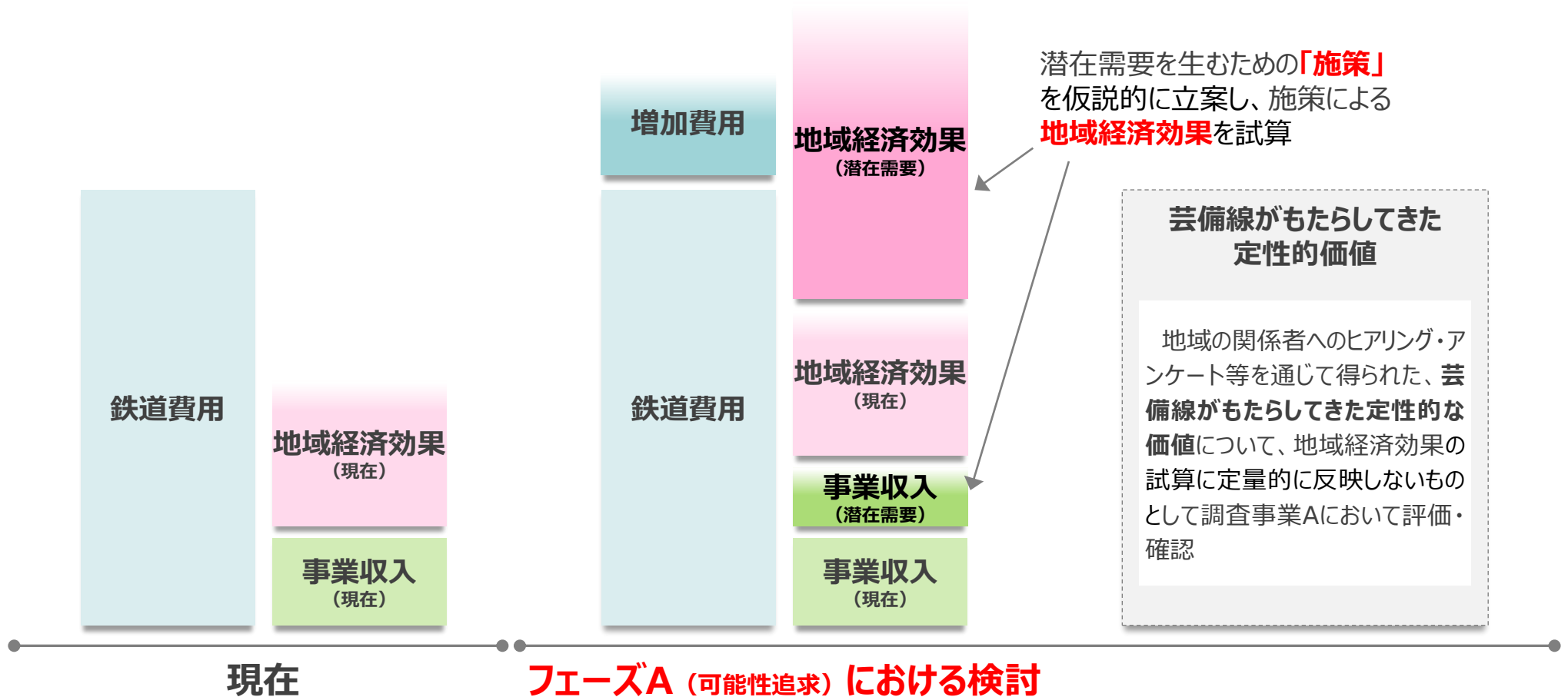
今後の進め方：3月に第3回協議会を開催して調査事業Aを最終報告し、実証事業A案を議論

## 各実施項目の今後の進め方

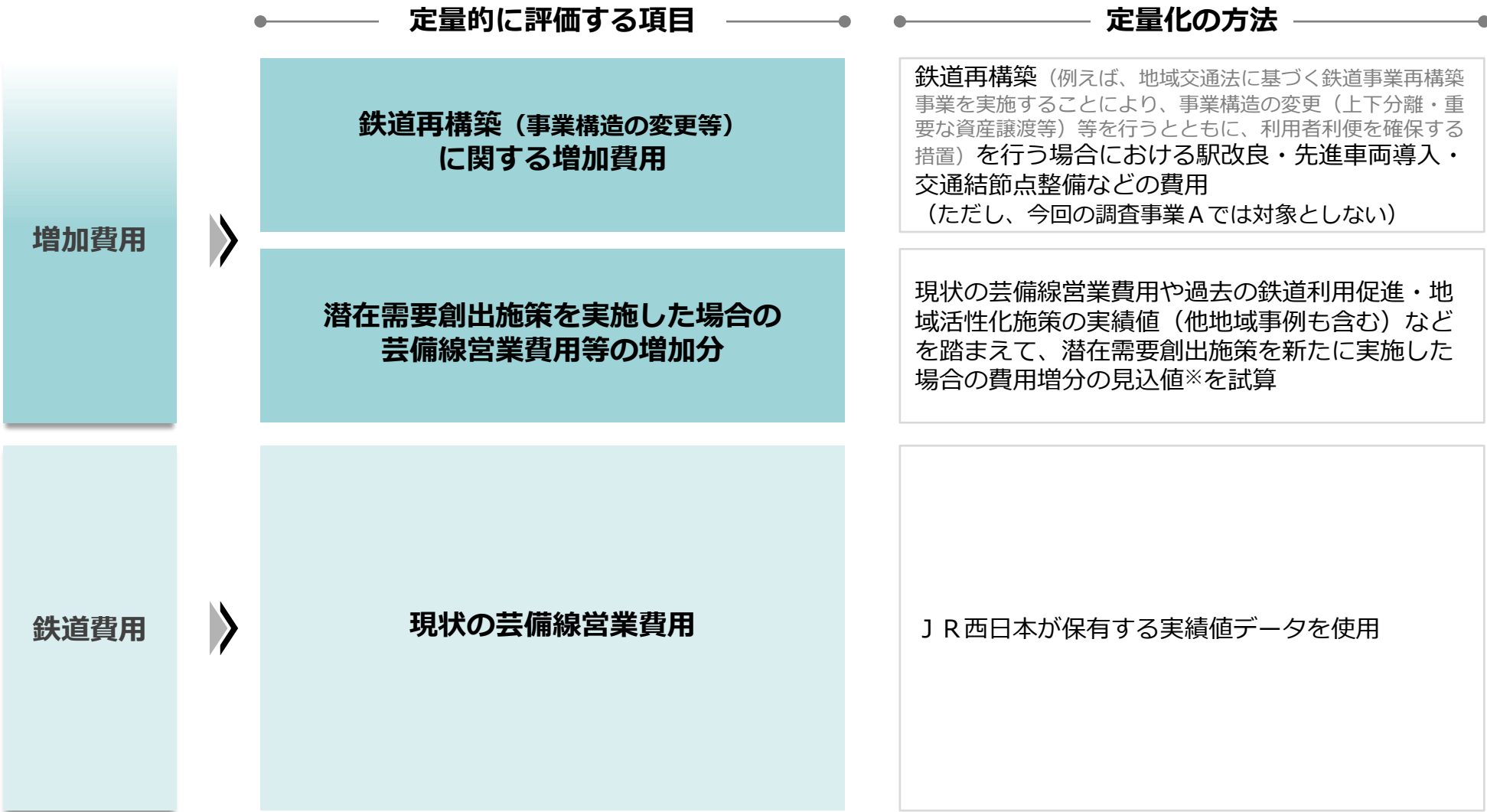
沿線住民へのアンケート・ヒアリング調査を実施中。来訪者アンケートは2月前半で実施予定  
2月上旬までにデータ36項目個別の分析を行い、2月中旬以降総合的な分析を実施



- **調査事業A**において、芸備線の多様な価値の創出や鉄道の潜在需要増加につながる「**施策**」を仮説的に立案し、「**施策**」による地域経済効果を試算
- **実証事業A**において、仮説を実証するため、「**施策**」を試行的に実施し、効果を測定



※ただし、費用を収入・経済効果が上回る/下回るいずれの場合にあっても、フェーズAの検討のみをもって最適な交通モードの判断は行わない



※「見込値」は、施策に伴う将来数値の試算結果であり、実施する施策数や規模によって変化し得る

**考え方** 芸備線そのものにとどまらず、沿線地域のまちづくりの観点から地域を捉えて幅広く議論することが本協議会の趣旨であることを踏まえ、今般の地域経済効果の試算は、事業収入にとどまらず、現在/潜在需要創出により、各住民/観光来訪者による芸備線の利用が各者にどのような恩恵（便益）を与えるか、各者の利用に伴う生活/観光の消費が地域にどのような波及効果を生むか、について金銭的価値で評価を試みるもの

定量的に評価する項目

定量化の方法

|                  |   |                                                                                             |                                                                                 |
|------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 地域経済効果<br>(潜在需要) | ➤ | 潜在需要創出施策を実施した場合の④～⑦増加分                                                                      | 沿線住民・来訪者アンケート調査結果や、過去の他地域事例等から、潜在需要創出施策を新たに実施した場合の利用増分の見込値※を試算                  |
| 地域経済効果<br>(現在)   | ➤ | ⑦ 芸備線利用来訪者による消費の経済波及効果<br>⑥ 芸備線利用住民による消費の経済波及効果<br>⑤ 芸備線利用者以外（送迎者等）に対する便益<br>④ 芸備線利用者に対する便益 | 沿線住民・来訪者へのアンケート調査結果から、現在の便益・経済波及効果の推計値を試算                                       |
| 事業収入<br>(潜在需要)   | ➤ | 潜在需要創出施策を実施した場合の①～③増加分                                                                      | ①～③の算出結果や過去の鉄道利用促進・地域活性化施策の実績値（他地域事例も含む）などを踏まえて、潜在需要創出施策を新たに実施した場合の収入増分の見込値※を試算 |
| 事業収入<br>(現在)     | ➤ | ③ 他の交通手段への波及<br>② 鉄道事業収入（運輸附帯収入・運輸雑収）<br>① 鉄道事業収入（運輸収入）                                     | 沿線住民・来訪者へのアンケート調査結果から芸備線特定区間に該当する部分を推計<br><br>J R 西日本が保有する実績値データを使用             |

※「見込値」は、施策に伴う将来数値の試算結果であり、実施する施策数や規模によって変化し得る

### ○ 地域経済効果の試算を検証するために取り組む施策等（事務局試案）

- ・これまでの協議会・幹事会における議論や、事務レベルで積み重ねてきた構成員間の議論を踏まえると、現状において、地域経済効果の試算を検証するために取り組む施策等の事務局試案としては、以下のとおり（今後の調査・検討で新たに施策が立案される場合には、順次追加）

#### ● 二次交通との連携強化

- －芸備線の駅と二次交通の連携強化により、移動需要を喚起

#### ● 観光・ビジネス需要への対応

- －観光やビジネス出張・産業視察等への対応により、移動需要を喚起

#### ● 地域拠点としての駅舎・公共施設・商業施設の有効活用

- －駅等の拠点化により、駅周辺の回遊性・滞留性を向上

#### ● 居住生活ニーズに対応した地域活性化・移住定住・まちづくり施策の推進

- －自治体そのものが取り組む施策の推進により、移動需要を喚起

#### ●（今後の調査・検討の中で新たに立案された施策を追加予定）

#### ※芸備線がもたらしてきた定性的な価値の評価・確認

- －地域の関係者へのヒアリング・アンケート等を通じて得られた、定性的な価値について、調査事業Aにおいて文書でとりまとめた上で構成員間で確認

- ・今後、データ36項目の個別分析や、ヒアリング・アンケート等によるアイデアの抽出を踏まえて施策を精査し、今後新たに立案された施策も追加した上で、次回協議会でとりまとめ
- ・地域経済効果の試算を検証するための施策のうち、試行的に実施して仮説実証する必要があるものについて来年度に実証事業Aとして実施

### ○ 調査事業（より専門的な分析等）の実施（提案）

- ・ 調査事業Aにおける、36項目に及ぶ収集データやそれらの分析結果、現状把握/総合的な分析によって得られた分析結果は、ファクトとデータに基づく議論を深度化させるため、次年度においても、引き続き活用していく必要
- ・ この点、現状の議論の流動的な動向を踏まえると、実証事業Aのプロセスにおいても、終了した調査事業Aに関する追加的な調査分析を行って、実証事業に反映する作業が生じることがあらかじめ想定
- ・ このほか、議論の進捗に応じて、議論に即応できる、より専門的な調査体制を確保しておく必要
- ・ このため、調査事業Aのデータ・分析結果の深掘りや更なる情報収集を図り、もってファクトとデータに基づく議論の深度化を図るため、令和7年度においても、実証事業Aとは別に、以下の内容による**調査事業（より専門的な分析等）**を実施することとしたい

#### 調査事業（より専門的な分析等）

○ 調査事業（より専門的な分析等）の具体的内容は、以下のとおり

- ・ 実証事業Aのプロセスで必要となる調査事業Aの追加的な調査分析
  - ・ まちづくり・観光との連携に関する調査分析や  
持続可能な地域社会や公共交通の可能性に関する調査分析 等を想定
- 
- ・ 調査事業（より専門的な分析等）の実施に当たっては、調査事業Aの結果も踏まえた上で内容を決定するが、その実施に際しては、知見のあるコンサルに委託することを想定（具体的な委託の手法等は今後検討）

|      | R5年度           | R6年度                                               |                                                                      | R7年度～                                     |
|------|----------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
|      | 下半期            | 上半期                                                |                                                                      |                                           |
|      |                |                                                    |                                                                      | ※期間は協議開始から3年以内を目安 ※協議状況等により内容・時期の変更の可能性あり |
| 協議会  | 3/26<br>第1回協議会 | 5/16<br>第1回幹事会                                     | 7/10<br>第2回幹事会                                                       | ★第2回協議会      ★第3回協議会<br>第4回協議会以降 年2回程度開催  |
| 協議事項 |                |                                                    | <div> <div>A 芸備線の可能性を最大限追求</div> <div>B 最適な交通モードの在り方を検討</div> </div> |                                           |
|      |                |                                                    | <div> <div>調査事業A</div> <div>調査事業（より専門的な分析等）</div> </div>             |                                           |
|      |                |                                                    | <div> <div>事業内容検討</div> <div>実証事業A</div> </div>                      |                                           |
|      |                |                                                    | <div> <div>事業内容検討</div> <div>実証事業B</div> </div>                      |                                           |
|      |                |                                                    | <div> <div>再構築方針案 協議</div> </div>                                    |                                           |
|      |                | <div> <div>住民等意見聴取 ※協議状況等を踏まえ時期・回数を検討</div> </div> |                                                                      |                                           |